

2015年度
第3Q連結累計期間決算及び、
業績予想修正説明資料
2016年2月8日



本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

内容

I. 2015年度Q1-3連結決算概況

- | | |
|---------|-----|
| 1.収支の状況 | P3 |
| 2.財務の状況 | P11 |

II. 資源セグメントの概況

P16

III. 2015年度通期業績予想修正

- | | |
|-------------|-----|
| 1.総括 | P17 |
| 2.第4Q業績予想修正 | P18 |
| 3.通期業績予想修正 | P21 |

I. 2015年度Q1-3連結決算概況

1. 収支の状況(総括)

○2015年10月21日業績予想修正との比較

第3Q期初の市況が腰折れし在庫評価損が実現した結果、連結経常利益は28.8億円下ブレの20.6億円の赤字となりました。

連結純利益は、CBH社両鉱山の減損152億円を行った結果、178.7億円の下ブレの182.7億円の赤字となりました。

東邦亜鉛個別では26.7億円の経常黒字を維持したものの、CBH社両鉱山の減損にともない、東邦亜鉛保有の同社株式の減損288億円(連結では相殺され影響なし)を計上したことから、268.7億円の赤字となりました。

○前年同期比較

前年同期が在庫評価益、当期が在庫評価損であったことから、連結経常利益は79.8億円の減益となりました。さらに、CBH両鉱山の減損を行ったことから、連結純利益は213.1億円の減益となりました。

単位:億円		単位:億円	
連結売上高	882	個別売上高	765
連結営業利益	△12.8	個別営業利益	18.9
連結経常利益	△20.6	個別経常利益	26.7
連結純利益	*△182.7	個別純利益	**△268.7

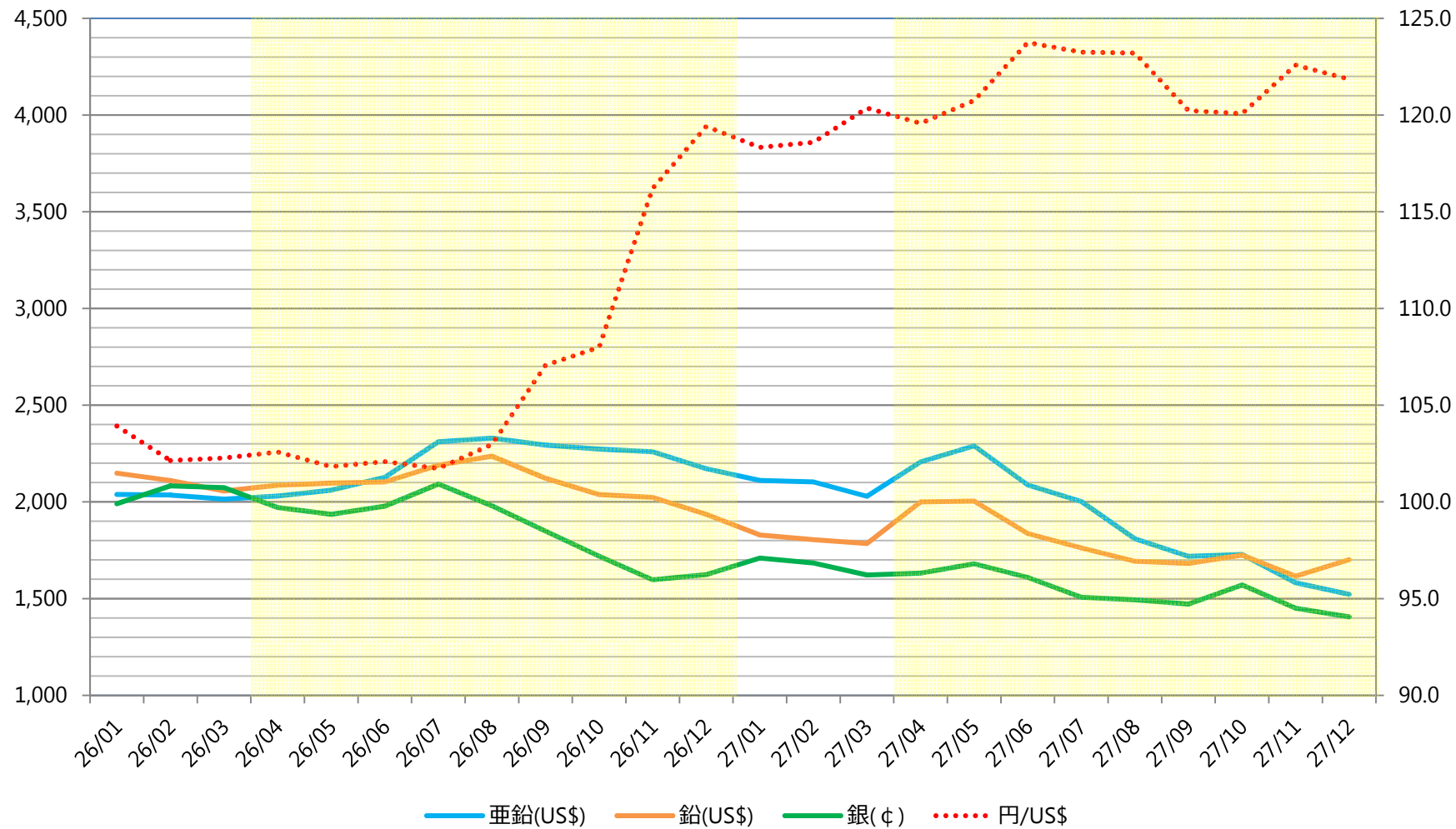
* 内、CBH社エンデバー鉱山減損△67億円、同ラスプ鉱山減損△85億円

** 内、東邦亜鉛保有CBH社株式の減損△288億円(連結では相殺され消去)

1. 収支の状況(市況推移)

メタル価格

為替



1. 収支の状況

(1)公表ベース比較(市況・生産量)

		10/21 公表ベース	2015年度 Q1-3 実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,946	1,883	△63	△3	
	鉛(米\$/t)	1,820	1,780	△40	△2	
	銀(米\$/toz)	16.1	15.4	△0.7	△4	
	円/米\$	121.2	121.7	0.5	0	
	米\$/豪\$(1-9月)	0.757	0.753	△0.004	△1	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	73.6	73.1	△0.5	△1	
	鉛製品(千t)	69.4	72.6	3.2	5	
	電気銀(t)	313	324	11	4	
資源セグメント CBH社関連(1-9月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	516	516	0	0
		ラスブ	419	419	0	0
		計	934	934	0	0
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	63.8	63.8	0.1	0
		ラスブ	32.3	32.5	0.2	1
		計	96.1	96.4	0.3	0
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	32.1	32.1	0.0	0
		ラスブ	19.3	19.4	0.1	0
		計	51.4	51.5	0.1	0

(1)公表ベース比較(収支)

			10/21 公表ベース	2015年度 Q1-3 実績	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	575	607	32	6
		資源	147	140	△7	△5
		電子部材	53	48	△5	△10
		環境・リサイクル	40	38	△2	△5
		その他	63	48	△15	△24
		計	878	882	4	0
	営業利益(億円)	製錬	16.3	6.9	△9.4	△58
		資源	△19.8	△35.3	△15.5	-
		電子部材	7.0	6.3	△0.7	△10
		環境・リサイクル	9.3	7.0	△2.3	△25
		その他	5.3	4.9	△0.4	△8
		調整	△2.0	△2.6	△0.6	-
		計	16.0	△12.8	△28.8	-
		経常利益(億円)	8.3	△20.6	△28.8	-
		純利益(億円)	△4.0	△182.7	△178.7	-
		EBITDA(億円)	84.8	53.1	△31.7	△37

1. 収支の状況

(2)前年同期比較(市況・生産量)

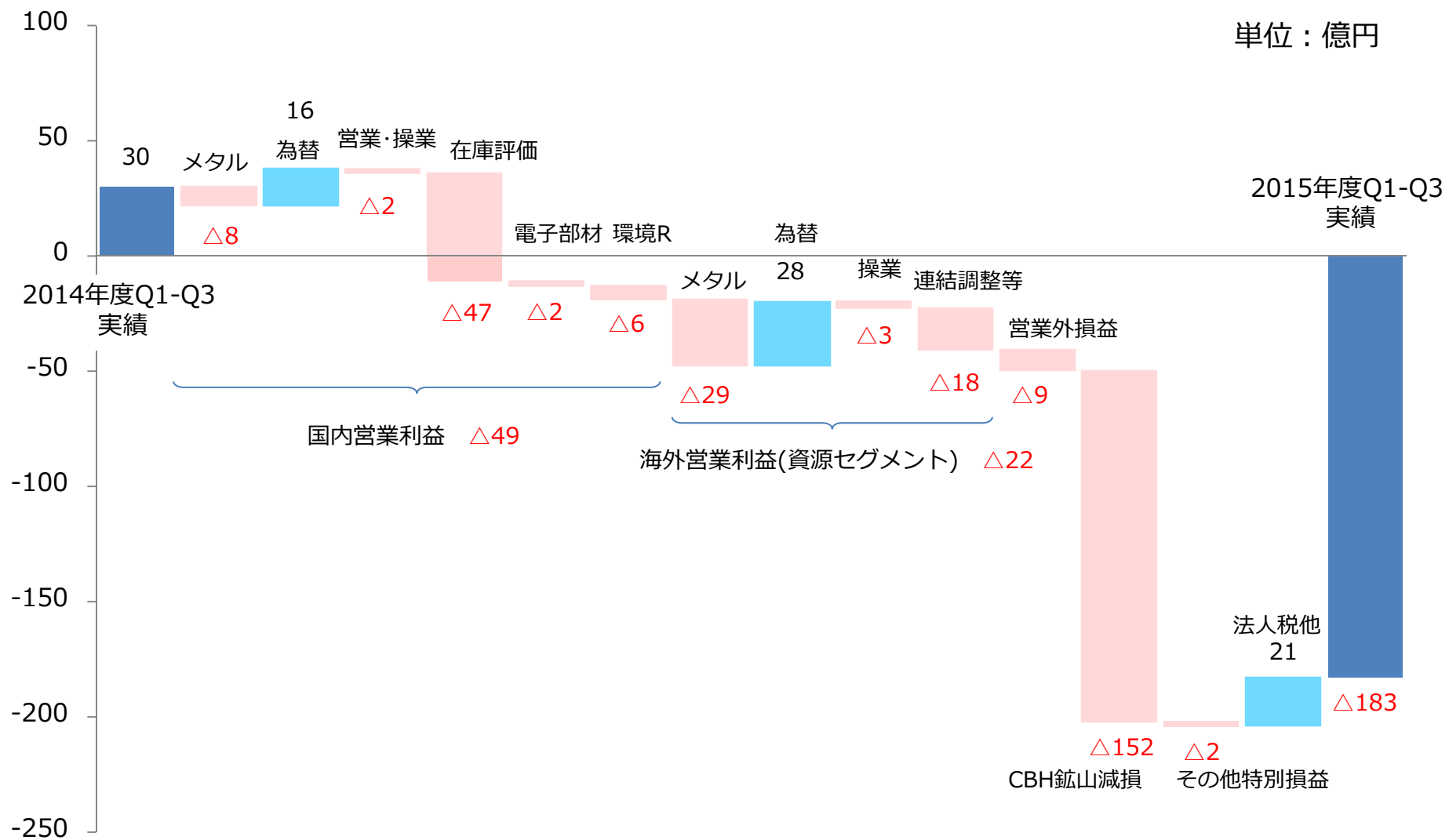
		2014年度 Q1-3 実績	2015年度 Q1-3 実績	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	2,206	1,883	△323	△15	
	鉛(米\$/t)	2,093	1,780	△313	△15	
	銀(米\$/toz)	18.6	15.4	△3.2	△17	
	円/米\$	106.9	121.7	14.8	14	
	米\$/豪\$(1-9月)	0.923	0.753	△0.170	△18	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	82.2	73.1	△9.1	△11	
	鉛製品(千t)	71.8	72.6	0.8	1	
	電気銀(t)	315	324	9	3	
資源セグメント CBH社関連(1-9月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	525	516	△9	△2
		ラスブ	408	419	11	3
		計	933	934	2	0
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	61.1	63.8	2.7	4
		ラスブ	28.3	32.5	4.2	15
		計	89.5	96.4	6.9	8
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	36.8	32.1	△4.7	△13
		ラスブ	13.3	19.4	6.1	46
		計	50.0	51.5	1.5	3

(2)前年同期比較(収支)

			2014年度 Q1-3 実績	2015年度 Q1-3 実績	差(実額)	差(%)
収支	売上高(億円)	製錬	618	607	△11	△2
		資源	129	140	11	9
		電子部材	54	48	△6	△11
		環境・リサイクル	45	38	△7	△16
		その他	55	48	△7	△12
		計	901	882	△19	△2
	営業利益(億円)	製錬	45.7	6.9	△38.8	△85
		資源	△13.3	△35.3	△22.0	-
		電子部材	8.1	6.3	△1.8	△22
		環境・リサイクル	13.4	7.0	△6.5	△48
		その他	5.9	4.9	△1.1	△18
		調整額	△1.1	△2.6	△1.5	-
		計	58.7	△12.8	△71.5	-
	経常利益(億円)		59.2	△20.6	△79.8	-
	純利益(億円)		30.4	△182.7	△213.1	-
	EBITDA(億円)		119.3	53.1	△66.3	△55

(2)前年同期比較(純利益増減分析)

単位：億円



1. 収支の状況

(3)四半期単位比較

2015年度		Q1実	Q2実	Q3実	Q4見	累計
売上高(億円)		313	288	281	252	1,134
営業利益(億円)	製錬	24.8	△21.0	3.1	△0.3	6.6
	在庫評価損益	11.0	△25.2	△8.8	0.5	△22.5
	上記以外	13.8	4.2	11.9	△0.8	29.1
	資源	△1.4	△17.4	△16.5	4.3	△31.0
	電子部材	2.3	2.1	1.9	1.4	7.7
	環境・リサイクル	4.9	1.7	0.5	0.3	7.3
	その他	1.4	1.8	1.7	2.6	7.4
	計	30.1	△32.9	△10.0	*0.8	△12.0
経常利益(億円)		25.4	△33.0	△13.0	0.6	△20.0
純利益(億円)		13.4	△28.4	△167.6	△0.3	△183

(ご参考)

*別途、調整項目△7.4あり

2014年度	Q1	Q2	Q3	Q4	累計
売上高(億円)	283	320	298	310	1,211
営業利益(億円)	7.1	24.7	27.0	10.2	69.0
経常利益(億円)	10.0	25.5	23.7	△3.6	55.7
純利益(億円)	3.3	15.6	11.5	△3.0	27.4

2. 財務の状況

(1)貸借対照表(資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2015年12月末 実績	差(実額)
流動資産	現金・預金		86	87	1
	受取手形・売掛金		160	144	△15
	たな卸資産		431	359	△72
	その他		25	48	23
	計		702	638	△64
固定資産	有形固定資産		501	441	△59
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	154 (157)	103 (123)	△51 (△34)
	無形固定資産		255	105	△150
		内CBH社関係 (豪\$百万表示)	252 (257)	105 (124)	△147 (△133)
	投資その他		62	58	△4
計		818	604	△214	
資産 合計			1,520	1,242	△277

2. 財務の状況




(1)貸借対照表(負債・純資産の部)

単位：億円

			2015年3月末 実績	2015年12月末 実績	差(実額)
負債の部	支払手形・買掛金		67	62	△5
	借入金	CP	60	70	10
		短期	169	148	△21
		長期	401	389	△12
		借入金 計	630	607	△23
	その他負債		178	151	△26
	計		874	820	△54
純資産の部	株主資本	資本金	146	146	0
		資本剰余金・自己株式	99	99	0
		利益剰余金	252	60	△192
		株主資本 計	497	305	△192
	その他包括利益累計額		148	117	△31
	計		645	422	△223
負債・純資産 合計			1,520	1,242	△277

2. 財務の状況

(2)主要財務指標の変化

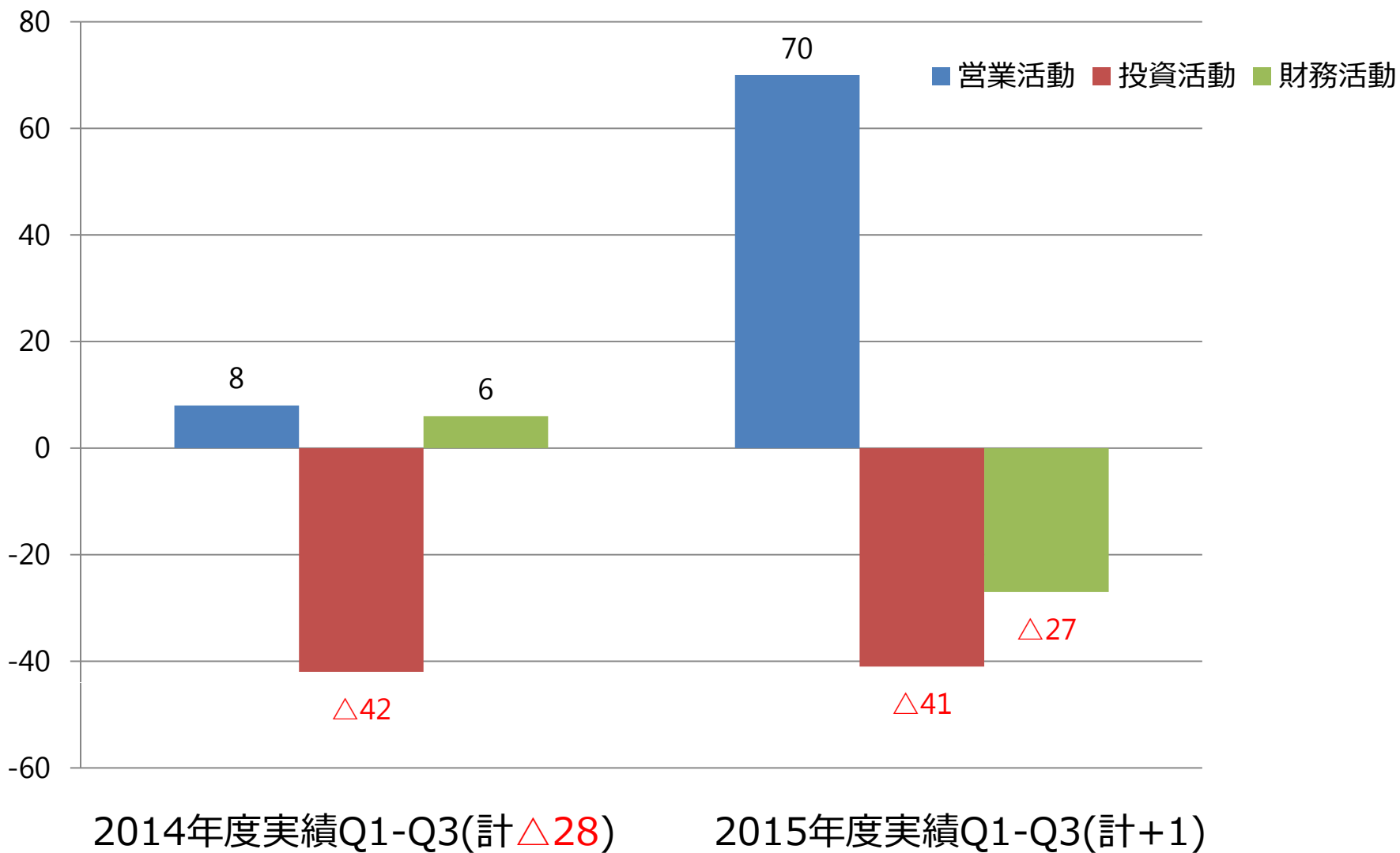
	2014年度 Q1-3		2015年度 Q1-3
自己資本比率	41.1%		34.0%
D/Eレシオ	1.0倍		1.4倍
D/EBITDAレシオ	5.3		11.4倍
*純利益/自己資本 (ROE)	6.7%	-	-
純利益/売上高	3.4%	-	-
売上高/総資産	0.8回転	-	-
総資産/自己資本	2.5倍	-	-

*年換算値

2. 財務の状況

(3) キャッシュ・フローの推移

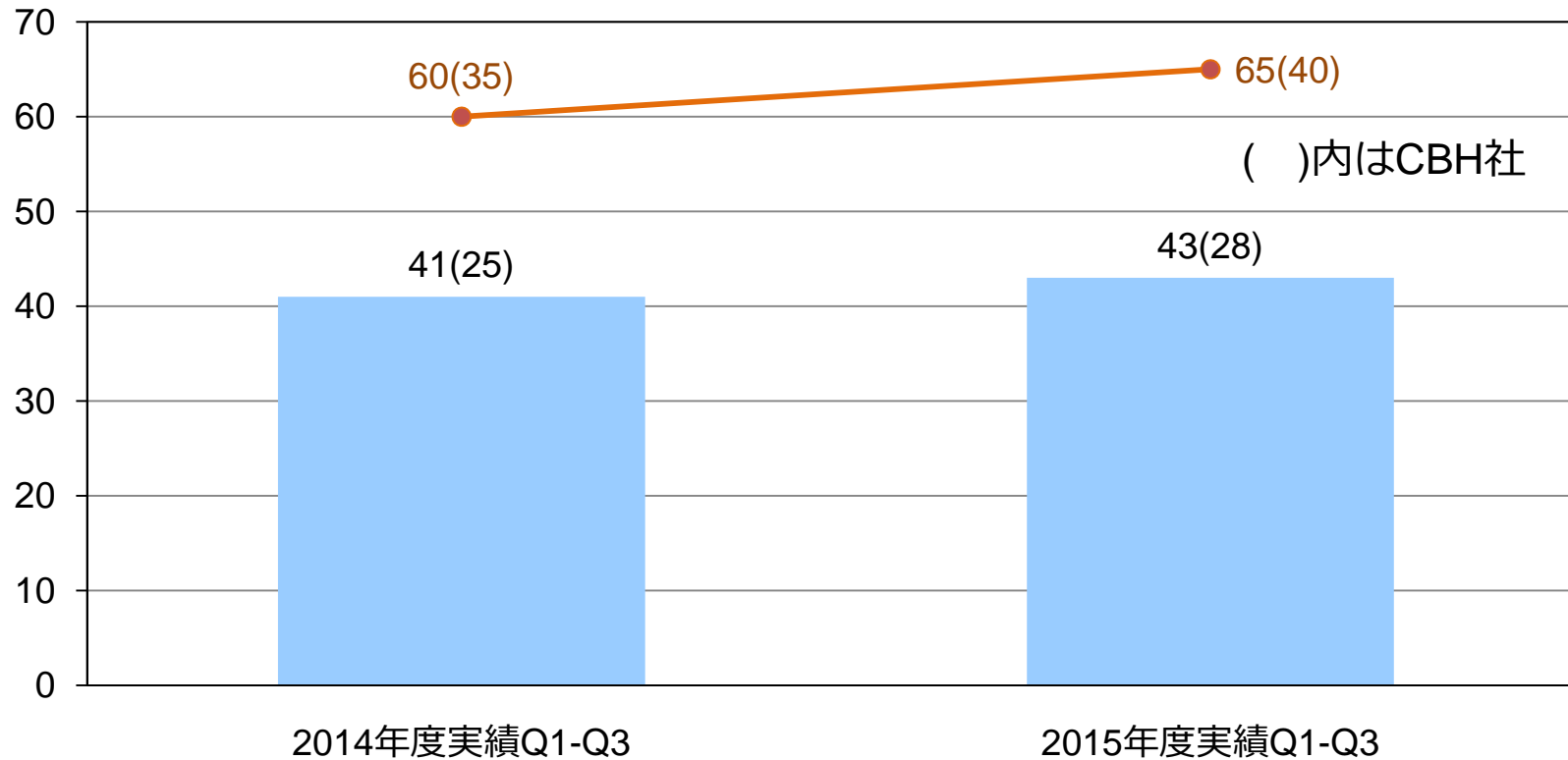
単位：億円



2. 財務の状況

(4)設備投資・減価償却の推移

単位：億円



■ 設備投資 ● 減価償却

II. 資源セグメントの概況

前年同期比△22.0億円

⇒内、CBH社営業利益△4.2億円(内、市況等他律要因△1.7億円)

CBH社の精鉱生産量は前年同期比+8.4千dmtを達成(亜鉛精鉱+6.9千dmt、鉛精鉱+1.5千dmt)

①エンデバー鉱山

前年同期比△6.7億円(内、市況等他律要因△1.5億円)

他律要因除いても5.2億円の減益→亜鉛粗鉱品位・歩留まり改善なるも、償却費増加

②ラスプ鉱山

前年同期比+2.7億円(内、市況等他律要因△0.1億円)

他律要因除くと今だ赤字ながら2.8億円の増益→鉛粗鉱品位・歩留まり改善

③連結調整等

前年同期比△17.8億円

連結決算に反映させる10~12月の親子間取引の市況影響による

利益(億円)		2014Q1-3実績	2015Q1-3実績	差(実額)
CBH社営業利益	エンデバー鉱山	5.7	△1.0	△6.7
	ラスプ鉱山	△14.7	△12.0	2.7
	その他	0.8	0.6	△0.2
	計	△8.2	△12.4	△4.2
*連結調整他		△5.1	△22.9	△17.8
資源セグメント利益		△13.3	△35.3	△22.0

*連結調整他：親子間決算期ずれ調整分等

Ⅲ. 2015年度決算 業績予想修正

1. 総括

第4Qは、第3QにおけるCBH社両鉱山の減損による減価償却費負担軽減効果はあるものの、引き続き足許の厳しい市況が継続するとして、営業利益・経常利益ともほぼトントンと予想しました。CBH社両鉱山の減損を実施した第3Q累計期間の赤字に第4Qの予想値を考慮し、今回の業績予想修正に至った次第です。

平成28年度に向けては、減価償却費負担が税引き後で35億円程度軽減し、損益分岐点が大幅に改善します。併せて、CBH社エンデバーでの減産シフトにより、現金収支の改善を図ります。東邦亜鉛グループ全体での一層の効率化を図ることにより、平成28年度でV字回復を目指します。

(2015年度通期業績予想修正後収支)

単位:億円

連結売上高	1,134	個別売上高	970
連結営業利益	△12.0	個別営業利益	21.0
連結経常利益	△20.0	個別経常利益	27.0
連結当期純利益	*△183.0	個別当期純利益	**△270.0

* 内、CBH社エンデバー鉱山減損△67億円、同ラスプ鉱山減損△85億円

** 内、東邦亜鉛保有CBH社株式の減損△288億円(連結では相殺され消去)

2. 第4Q業績予想修正

(1)市況・生産量

		10/21公表ベース	業績予想修正	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,800	1,500	△300	△17	
	鉛(米\$/t)	1,800	1,650	△150	△8	
	銀(米\$/toz)	17.0	14.0	△3.0	△18	
	円/米\$	120.0	119.0	△1.0	△1	
	米\$/豪\$(10~12月)	0.700	0.733	0.033	5	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	28.1	28.1	0	0	
	鉛製品(千t)	18.1	18.1	0	0	
	電気銀(t)	84	84	0	0	
資源セグメント CBH関連(10~12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	173	173	1	0
		ラスプ	152	152	0	0
		計	324	325	1	0
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	22.6	21.2	△1.4	△6
		ラスプ	13.3	13.5	0.2	2
		計	35.9	34.7	△1.2	△3
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	8.5	10.4	1.8	21
		ラスプ	6.1	6.8	0.7	12
		計	14.6	17.2	2.5	17

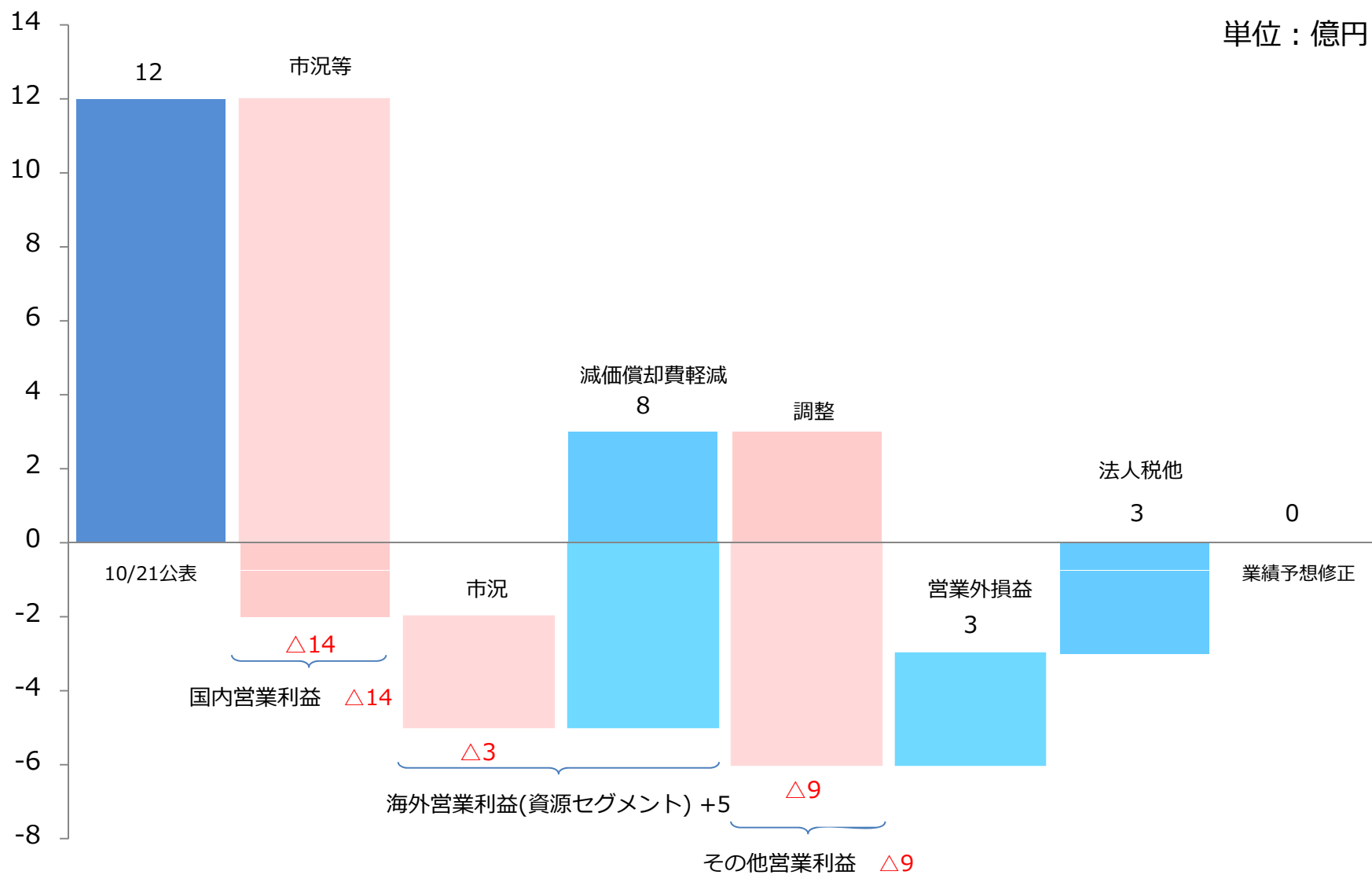
2. 第4Q業績予想修正

(2)収支

		10/21公表ベース	業績予想修正	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		283	252	△30	△11
営業利益(億円)	製錬	12.3	△0.3	△12.5	-
	資源	△0.8	4.3	5.0	-
	電子部材	2.5	1.4	△1.1	△44
	環境・リサイクル	2.8	0.3	△2.4	△86
	その他	0.3	2.6	2.3	920
	調整	2.0	△7.4	△9.4	-
	計	19.0	0.8	△18.2	△95.8
経常利益(億円)		17.3	0.6	△15.2	△87.9
純利益(億円)		12.3	△0.3	△12.6	-
EBITDA(億円)		40.8	15.0	△25.8	△63.2

2. 第4Q業績予想修正

(3)10/21公表比較(純利益増減分析)



3. 通期業績予想修正

(1)市況・生産量

		10/21公表ベース	業績予想修正	差(実額)	差(%)	
市況	亜鉛(米\$/t)	1,910	1,787	△122	△6	
	鉛(米\$/t)	1,815	1,747	△67	△4	
	銀(米\$/toz)	16.3	15.0	△1.3	△8	
	円/米\$	120.9	121.0	0.1	1	
	米\$/豪\$(1~12月)	0.743	0.748	0.005	1	
製錬セグメント 主要製品生産量	亜鉛製品(千t)	101.8	101.4	△0.4	0	
	鉛製品(千t)	90.5	90.7	0.2	0	
	電気銀(t)	408	408	0	0	
資源セグメント CBH関連(1~12月)	粗鉱処理量(千t)	エンデバー	688	689	1	0
		ラスプ	571	571	0	0
		計	1,259	1,260	1	0
	亜鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	86.3	85.0	△1.3	△2
		ラスプ	45.6	46.0	0.4	1
		計	132.0	131.0	△0.9	△1
	鉛精鉱生産量(千dmt)	エンデバー	40.6	42.5	1.8	4
		ラスプ	25.4	26.2	0.8	3
		計	66.0	68.7	2.6	4

3. 通期業績予想修正

(2)収支

		10/21公表ベース	業績予想修正	差(実額)	差(%)
売上高(億円)		1,160	1,134	△26	△2
営業利益(億円)	製錬	28.5	6.6	△21.9	△77
	資源	△20.5	△31.0	△10.5	-
	電子部材	9.5	7.7	△1.8	△19
	環境・リサイクル	12.0	7.3	△4.7	△39
	その他	5.5	7.4	1.9	35
	調整	0	△10.0	△10.0	-
	計	35.0	△12.0	△47.0	-
経常利益(億円)		24.0	△20.0	△44.0	-
純利益(億円)		6.0	△183.0	△189.0	-
EBITDA(億円)		125.6	68.0	△57.6	△45.9

* 配当予想は@7円から@5円へ変更

3. 通期業績予想修正

(3)10/21公表比較(純利益増減分析)

単位：億円

